



教育現場のウェルビーイングを研究

発達教育学部 教育学科 教授 **森 久佳**

カリキュラム・オーバーロード(過剰負担)に取り組む
教職とジェンダー、女性の校長・教頭職のキャリア形成の調査

コメントできる
研究領域

学校・教員の
ウェルビーイング

教師教育

カリキュラム・
オーバーロード

女性教員のキャリア

京都女子大学は、教員の研究活動や社会連携など“社会のための女子大学”の姿をお伝えするニュースレターを発信しています。今回は、教師教育や学校カリキュラムについて研究する教育学部の森久佳教授をご紹介します。

■ 学校・教員のウェルビーイングや働き方の向上を目指し、学校現場で、カリキュラム改善・開発を支援。

森教授は、学校・教員のウェルビーイングの維持・向上(心身の幸福度や健康と同時に、教員としての専門性を高める機会・時間の確保やキャリア形成を実現)を目指し、各学校の校内研修等に参加して授業やカリキュラムの課題点の指摘や改善・開発支援に取り組んでいます。森教授は、学校と教員自身が働き方を見つめ直し、外部の力を借りながら改革することで、より良いカリキュラム開発と教師のウェルビーイングの維持・向上の両立が可能になると考えています。また、25年にわたり「学習集団」や「人権」を軸に授業を通して子どもたちに居場所と学力を保障する実践を追究しており、大阪府下の教員らによる授業研究サークルにも参加し、授業やカリキュラムづくりに携わってきました。さらに、民主的な学校づくりの観点からオルタナティブ教育の研究にも着手しています。2025年6月からは、大阪市教育委員会の教育委員も務めています。

■ 小学校での外国語教科化、AIなど情報増加による、教育現場のカリキュラム・オーバーロード(過剰負担)。

2024年のOECDの調査によると、日本の小・中学校教員の労働時間は対象国の中で最長でした。また現在の教育現場は、「主体的・対話的・深い学び」などの新たな概念、小学校高学年での外国語の教科化、AI導入、授業時間の積み増しなどが原因で、「カリキュラム・オーバーロード(過剰負担)」が発生しています。子どもは、学ぶ内容が多いことで負担を感じ、深い学びのスキルを伸ばせません。教員も、授業準備以外の多くの業務がある中、新たなカリキュラムの準備が必要です。

森教授は、カリキュラム・オーバーロードによる子どもや教員への心理的・精神的な影響に関する調査や研究は十分でないとし、克服には現在の教育内容や授業時数が子どもに適切かどうかの正確な調査が必要としています。その上で、学校教育に携わる当事者を中心に議論・検討し、自律的に学校教育のカリキュラムを精査して教育現場の声を広く発信するための仕組みを構築することが重要と考えています。

■ 小学校は約6割が女性教員だが、校長・教頭は2割。女性の校長・教頭のキャリア形成をインタビュー調査。

森教授は、教員の管理職とジェンダーをテーマに研究しています。日本の小学校では約6割が女性教員であるにもかかわらず、女性校長・教頭は2割ほどです。森教授はこの現状には、個人の資質ではなく構造的な要因があると考え、校長・教頭職の女性教員を対象にどのようなキャリア形成を歩んできたのか、インタビュー調査を行っています。

森 久佳(もり・ひさよし) Profile

<https://gyouseki-db.kyoto-wu.ac.jp/kywuhp/KgApp/k03/resid/S001778>

- 略歴 1975年生まれ。1999年大阪市立大学文学部卒業。2005年大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程 修了。龍谷大学短期大学部こども教育学科准教授、大阪市立大学文学研究科人間行動学専攻准教授などを経て、2021年より現職。
- 論文 「デュイ実験学校における教師の専門性を捉える視点：『実験学校活動報告』(Laboratory School Work Reports)の記述に着目して」(単著/2025年/京都女子大学教職支援センター研究紀要、第07号149-160頁)
- 著書 『子どもがつながる、学びが深まる「発問」「個別最適化時代」の教師の問い』(共著/2024年/学事出版、6章)
『子どもの未来を拓く教育原理』(単著/2023年/青踏社)
『変動する総合・探究学習』(分担執筆/2023年/大修館書店)

<本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先>

- 京都女子大学入試広報課 岡橋・竹縄 TEL: 075-531-7054 FAX: 075-531-7222
- 京都女子大学広報デスク(プランニング・ホート内) 福嶋・井上 TEL: 06-4391-7156 FAX: 06-4393-8216
- 京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp>